

スコアシート 実施設計段階		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数	
Q 建築物の環境品質						3.3
Q1 室内環境			0.32			3.4
1 音環境		3.0	0.20			3.0
1.1 騒音		-	-			
1.2 遮音		3.0	0.67			
1 開口部遮音性能		3.0	1.00	3.0		
2 界壁遮音性能		-	-	3.0		
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)		3.0	-	3.0		
4 界床遮音性能(重量衝撃源)		3.0	-	3.0		
1.3 吸音		3.0	0.33	3.0		
2 温熱環境		3.1	0.47			3.1
2.1 室温制御		3.7	0.50			
1 室温		3.0	0.38	3.0		
2 外皮性能		3.0	0.25	3.0		
3 ソーン別制御性	ペリメーターとインテリアをビルマルチ方式による冷暖同時運転。	5.0	0.38			
2.2 湿度制御		2.0	0.20	2.0		
2.3 空調方式		3.0	0.30	3.0		
3 光・視環境						
3.1 昼光利用						
1 昼光率		-	-	3.0		
2 方位別開口		-	-	3.0		
3 昼光利用設備		-	-	3.0		
3.2 グレア対策						
1 昼光制御		-	-	3.0		
3.3 照度		-	-	3.0		
3.4 照明制御		-	-	-		
4 空気質環境		4.0	0.33			4.0
4.1 発生源対策		5.0	0.50			
1 化学汚染物質	内装材料はF☆☆☆☆でVOCの発生の少ない建材を採用。	5.0	1.00	5.0		
2 VOC対策		-	-	-		
4.2 換気		3.0	0.30			
1 換気量		3.0	0.50	3.0		
2 自然換気性能		-	-	3.0		
3 取り入れ外気への配慮		3.0	0.50	3.0		
4.3 運用管理		3.0	0.20			
1 CO ₂ の監視		-	-	-		
2 喫煙の制御		3.0	1.00	-		
Q2 サービス性能			0.30			3.5
1 機能性		3.4	0.40			3.4
1.1 機能性・使いやすさ		3.0	0.40			
1 広さ・収納性		-	-	3.0		
2 高度情報通信設備対応		-	-	3.0		
3 バリアフリー計画		3.0	1.00	-		
1.2 心理性・快適性		4.0	0.30			
1 広さ感・景観		-	-	3.0		
2 リフレッシュスペース		-	-	-		
3 内装計画	事前に別途バース資料によるインテリア検討を行い、コンセプトに沿った天然素材を使用する。	4.0	1.00	-		
1.3 維持管理		3.5	0.30			
1 維持管理に配慮した設計		3.0	0.50	-		
2 維持管理用機能の確保	清掃の為業者控え室を設け、各階トイレに清掃用具入れを設置。	4.0	0.50	-		
3 衛生管理業務		-	-	-		
2 耐用性・信頼性		3.7	0.30			3.7
2.1 耐震・免震		3.8	0.50			
1 耐震性	耐震安全性の分類Ⅱ類施設同等・標準建物の1.25倍の耐震性確保。	4.0	0.80	-		
2 免震・制振性能		3.0	0.20	-		
2.2 部品・部材の耐用年数		3.7	0.30			
1 躯体材料の耐用年数	品確法で等級3	5.0	0.20	-		
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		2.0	0.20	-		
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		3.0	0.10	-		
4 空調換気ダクトの更新必要間隔	屋外ダクトについてはステンレスダクトの採用	4.0	0.10	-		
5 空調・給排水配管の更新必要間隔	給水管ポリエチレン管。汚水管と排水管は塩化ビニル管 Bが3つ	5.0	0.20	-		
6 主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.20	-		

2.4 信頼性			3.8	0.20			
1	空調・換気設備	配管ダクト支持については耐震クラスS適用。一部のパッケージエアコンでは停電時でも運転が可能であるガスビートポンプパッケージエアコン(LPGガス仕様)を採用している	4.0	0.20			
2	給排水・衛生設備	雨水利用設備の採用。節水器具の採用。給水(上水)は直圧であるが、給水本管断水時は、給水タンクの水を使えるように対応したシステムとなっている。	4.0	0.20			
3	電気設備		3.0	0.20			
4	機械・配管支持方法	配管ダクト支持については耐震クラスS適用。	4.0	0.20			
5	通信・情報設備	①光・メタルを引込む。②精密機器は1階以上に設置。③災害時使用可能な有線電話を設置。	4.0	0.20			
3 対応性・更新性			3.3	0.30			3.3
3.1 空間のゆとり			4.4	0.30			
1	階高のゆとり	工場部分の平均階高は1階+2階の平均で4.0m	5.0	0.46			
2	空間の形状・自由さ	工場部分について火葬炉設置のため空間を大きくするため、壁を少なく計画した。壁長さ比率は0.262	4.0	0.54	3.0		
3.2 荷重のゆとり			3.0	0.30	3.0		
3.3 設備の更新性			2.8	0.40			
1	空調配管の更新性		2.0	0.20			
2	給排水管の更新性		3.0	0.20			
3	電気配線の更新性		3.0	0.10			
4	通信配線の更新性		3.0	0.10			
5	設備機器の更新性		3.0	0.20			
6	バックアップスペースの確保		3.0	0.20			
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.38			3.2
1 生物環境の保全と創出			2.0	0.30			2.0
2 まちなみ・景観への配慮		葛葉川沿いの既存憩園・既存庭園を保存する。既存建物の外観に外壁を合わせる	4.0	0.40			4.0
3 地域性・アメニティへの配慮			3.5	0.30			3.5
3.1	地域性への配慮、快適性の向上	地産産材(杉)を用いたルーバーを大庇の軒裏や手摺材に使用する	4.0	0.50			
3.2	敷地内温熱環境の向上		3.0	0.50			
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-			3.4
LR1 エネルギー			-	0.40			3.7
1 建物外皮の熱負荷抑制			3.0	0.05			3.0
2 自然エネルギー利用		空調換気用給気についてクールヒートレンジからの導入。火葬炉室の換気は通常は自然換気にて行う。冬季の給気は火葬炉室で余熱された給気を一部で導入。告別室はトップライトを採用。	4.0	0.12			4.0
3 設備システムの高効率化		BEIm 非住宅 0.64 住宅(専有部) -	4.0	0.60			4.0
集合住宅以外の評価(3a,3b)		BEIm=0.64	4.0	1.00			
集合住宅の評価(3c)			-	-			
4 効率的運用			3.0	0.24			3.0
集合住宅以外の評価			3.0	1.00			
4.1	モニタリング		3.0	0.50			
4.2	運用管理体制		3.0	0.50			
集合住宅の評価			-	-			
4.1	モニタリング		3.0	-			
4.2	運用管理体制		3.0	-			
LR2 資源・マテリアル			-	0.30			3.1
1 水資源保護			3.8	0.20			3.8
1.1	節水	節水型衛生器具の採用。	4.0	0.40			
1.2	雨水利用・雑排水等の利用		3.7	0.60			
1	雨水利用システム導入の有無	トイレ洗浄水、緑化散水に雨水利用水を採用。	4.0	0.70			
2	雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.30			
2 非再生性資源の使用量削減			3.0	0.60			3.0
2.1	材料使用量の削減		2.0	0.10			
2.2	既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.20			
2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用		3.0	0.20			
2.4	躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		3.0	0.20			
2.5	持続可能な森林から産出された木材		2.0	0.10			
2.6	部材の再利用可能性向上への取組み	軽鉄工法及びGL工法採用	4.0	0.20			
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.0	0.20			3.0
3.1	有害物質を含まない材料の使用		3.0	0.30			
3.2	フロン・ハロンの回避		3.0	0.70			
1	消火剤		-	-			
2	発泡剤(断熱材等)		3.0	0.50			
3	冷媒		3.0	0.50			
LR3 敷地外環境			-	0.30			3.4
1 地球温暖化への配慮		LCCO2排出率=81%	3.7	0.33			3.7
2 地域環境への配慮			3.5	0.33			3.5
2.1	大気汚染防止		3.0	0.25			
2.2	温熱環境悪化の改善	風通しに配慮し敷地外の熱負荷の低減を図っている	4.0	0.50			
2.3	地域インフラへの負荷抑制		3.0	0.25			
1	雨水排水負荷低減		3.0	0.25			
2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.25			
3	交通負荷抑制	管理用車両と来館者用車両のスペース及び動線を分けることでそれぞれの車両の出入れのスムーズさと必要スペースを確保	4.0	0.25			
4	廃棄物処理負荷抑制		2.0	0.25			
3 周辺環境への配慮			3.2	0.33			3.2
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40			
1	騒音		3.0	1.00			
2	振動		-	-			
3	悪臭		-	-			
3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制			3.0	0.40			
1	風害の抑制		3.0	0.70			
2	砂塵の抑制		3.0	-			
3	日照阻害の抑制		3.0	0.30			
3.3 光害の抑制			4.4	0.20			
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	メーカー技術者にアドバイザーとして助言をもらう。広告照明無し。	5.0	0.70			
2	眩光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30			